

シニアに快適な住まいは 3つのポイントで見極める

迫り来る高齢化社会。私たちも無関心ではられない世代になってきた。年寄った両親だけでなく、数を経ては私たち自身も高齢になっていく。高齢者住宅は増えてはいるようだが、いざ入居となるとなを基準にどう選べよいかわからない。今回、そんな我々の疑問に高齢者向けのサービスを新たに始めた学生マンションのパイオニア、株式会社ジェイ・エス・ビーの岡正人会長兼社長に話を聞いた。

私たちが今回始めたサービスは、高齢者の方々への良質な住宅情報提供サービス『グランユニライフ』です。私たちは大学生へマンション情報を提供して35年以上になります。こ

れらのサービスは、学生さんが住むにもかかわらず、契約当事者は親御さんです。ですから、ご紹介のときにも親御さんと学生さんが一緒に来られます。しかし近年様子が少し変わってきました。親御さんとともに学生の祖父、おじいちゃんとおばあ

ちゃんもいらつしやるのです。最近はみなさんお元気で、孫がどの様な部屋に住み、街に住むのか興味あるでしょうね。そうしているうちに「この街が気に入ったので私たちも住みたい。部屋を紹介してもらえないか」という相談が増えてきたのです。私たちは学生専門ですが、紹介できなかったのですが、ニーズがあるのであれば本格的にサービスを立ち上げようと10年以上前から準備してきました。

① 良質な睡眠が得られる。
② 飽きずにいただける美味しい食事。
③ みんなと会話できる共用スペース。

当然、必要十分な住居としての基準を満たしたうえでポイントです。『グランユニライフ』では、そういう高齢者住宅を全国レベルでご紹介します。もともと学生マンション事業は全国で展開しているので支社も全

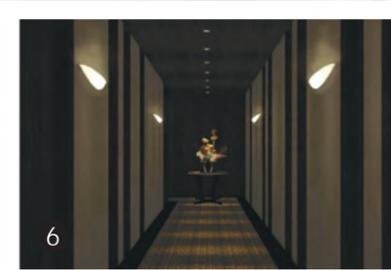
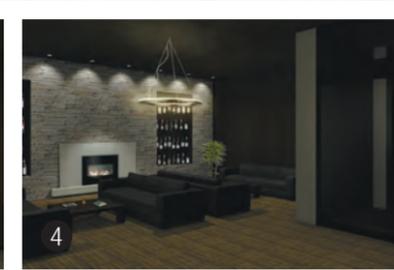
国主要都市にあります。全国でご紹介できることのメリットは、たとえば首都圏で働いていらっしゃる方がお近くの弊社窓口で、年寄ったご両親がお住まいの、故郷近くのご住居を探すことができます。首都圏

の店舗で、住居が絞られれば、現地へ行ってご両親と見学する、気に入れば体験入居もできる、というように効率よく住まい探しをすることができます。もちろんすべて無料です。

また同時に今後、私たち独自の高齢者住宅も企画・建設していきます。全国に建設する予定ですが、予定地はどこも自身が住みたいくなる魅力的な土地。そういった場所にさきほどの3つのポイントを付加して価値の高い住居を提供していきたいと思っています。まずは近いうちに函館・湯の川温泉に完成する予定です。将来的には、学生マンションと高齢

者住宅の複合型マンションも創っていく予定です。高層階には学生が住み、低層階には高齢者が住む。そして共有スペースでは、世代が異なるもの同士でコミュニケーションがとれるのです。また、介護が必要になった高齢者の方には学生がボランティアとして働いて高齢者のケアができるようになります。ボランティアの対価は家賃補助として学生に還元することもできます。

夢に向かって『学生マンションから、共生創造企業』として、これからも私たちは社会のお役に立ちたいと思っています。



1. 函館・五稜郭タワーから一望できる五稜郭。2. 日常の疲れを癒してくれる温泉は魅力（イメージ）。3. 落ち着きのあるフロント。4. 洗練されたロビー。5. みんなが集うダイニングルーム。6. 廊下にいるまですべてがシティホテルのような清潔感のある住まいです。（3～6は完成予想図）

サービス付き
高齢者向け住宅
「グランメゾン迎賓館
函館湯の川」
外観イメージ

お問い合わせ

全国高齢者向け住宅情報サイト <http://www.grand-unilife.com>

総合お問合せフリーダイヤル 0120-133-165

高齢者住宅情報プラザ
Grand UniLife

interview \

おか まさと
岡 正人
株式会社ジェイ・エス・ビー
代表取締役 会長兼社長

1960年兵庫県生まれ。83年同志社大学商学部卒業。学生時代、(株)ジェイ・エス・ビーの前身である京都学生情報センターにアルバイトとして入り、以来30年余で全国に72店舗の学生専門賃貸不動産店 UniLifeの展開を成し遂げる。先般、初の著書『経営者はアイドルでなければならない』（プレジデント社）を上梓した。

撮影：大沢尚芳

